平成30年６月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第646号

林業福島

No. 646

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

6
2018

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■森と清流

開催日決定パネル除幕式（平成29年８月９日）

第69回全国植樹祭を迎えるに当たって

福島県知事
内　堀　雅　雄

このたび、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本県では昭和四五年の開催以来四八年ぶり二回目となる、「第六九回全国植樹祭」を南相馬市原町区において開催いたします。

本大会は、千年に一度の大災害から復興する海岸防災林を会場として、「育てよう　希望の森を　いのちの森を」をテーマに、被災地で初めての開催するものであり、大会では、植樹活動による人と人とのつながりやふるさとへの思い、未来への希望を胸に、復興に向けて力強く歩みを続ける県民の姿を広く発信するとともに、これまで国内外から寄せられた温かい御支援に対する感謝の気持ちを広くお伝えしてまいりたいと考えております。

さて、本県は、平成十七年に制定した「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」の下、県民一人一人が森林に親しみ、守り育てる心を共有し、県内各地で森林（もり）づくり活動を進めてまいりましたが、七年前に発生した大震災と原発事故により未曾有の災害がもたらされ、大津波は海岸防災林の六割を流失させ、原発事故は県民の森林（もり）づくり活動を阻み、森林（もり）と人とのきずなに大きな溝が生じました。

しかし、そのような中でも、本県は、県民の懸命な努力と国内外からいただいた御支援により、着実に復興の歩みを進めてまいりました。震災により傷ついた森林（もり）と人とのきずなを取り戻し、次世代に引き継いでいく取組につきましても、県民参加による森林（もり）づくり活動をより一層推進するとともに、全国初の取組となる林帯幅約二〇〇㍍の海岸防災林の整備や、放射性物質の影響を受けた森林の再生などに全力で取り組んでいるところです。

県といたしましては、今回の全国植樹祭を契機として、次の世代へ継承する豊かな森林（もり）づくり活動の推進など、復興・創生に向けた更なる挑戦を強い決意を持って続けてまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様や、大震災以降本県を御支援くださった数多くの方々に改めて御礼を申し上げますとともに、「林業福島」を御覧の皆様の御健勝、御多幸を御祈念申し上げまして、挨拶といたします。

《もくじ》

とびら
第69回全国植樹祭を迎えるに当たって
福島県知事　内　堀　雅　雄…… 1
平成30年６月10日　第69回全国植樹祭を開催します…… 2～4
全国植樹祭のサテライト会場にぜひお越しください！…… 5
第47回全国林業後継者大会2018福島大会inいわきの開催について…… 6～8
普及指導員通信…… 9
森林管理署メモ…… 10
木に触れて豊かな心を育む「木育」③… 11
木材市況・ふくしま東西南北…… 12
はなしのひろば・お知らせコーナー…… 13

平成30年6月10日 第69回全国植樹祭を開催します

「育てよう　希望の森を　いのちの森を」を大会テーマに準備を進めてきた全国植樹祭が、いよいよ開催となります。

大会当日は式典行事や植樹行事などを行い、緑豊かなふるさとの再生と復興に向けて力強く歩み続ける本県の姿や、国内外からの支援に対する感謝の気持ちを広く発信します。

式典行事

プロローグアトラクション
～心から感謝を込めて～

復興支援への感謝の気持ちと歓迎の気持ちを表現します。

霊山太鼓（中通り）

山木屋太鼓（中通り）

会津彼岸獅子（会津）

フラ（浜通り）

メインアトラクション
～育てよう　希望の森を　いのちの森を～

県民が明るく希望を持って未来に向けて進む姿を、「高村光太郎・智恵子」をモチーフに表現します。

エピローグアトラクション
～未来に向かって～

開催地域の伝統的民謡を基に、東日本大震災からの復興と再生に向け、県民が力強く進んでいく姿を表現します。

相馬野馬追

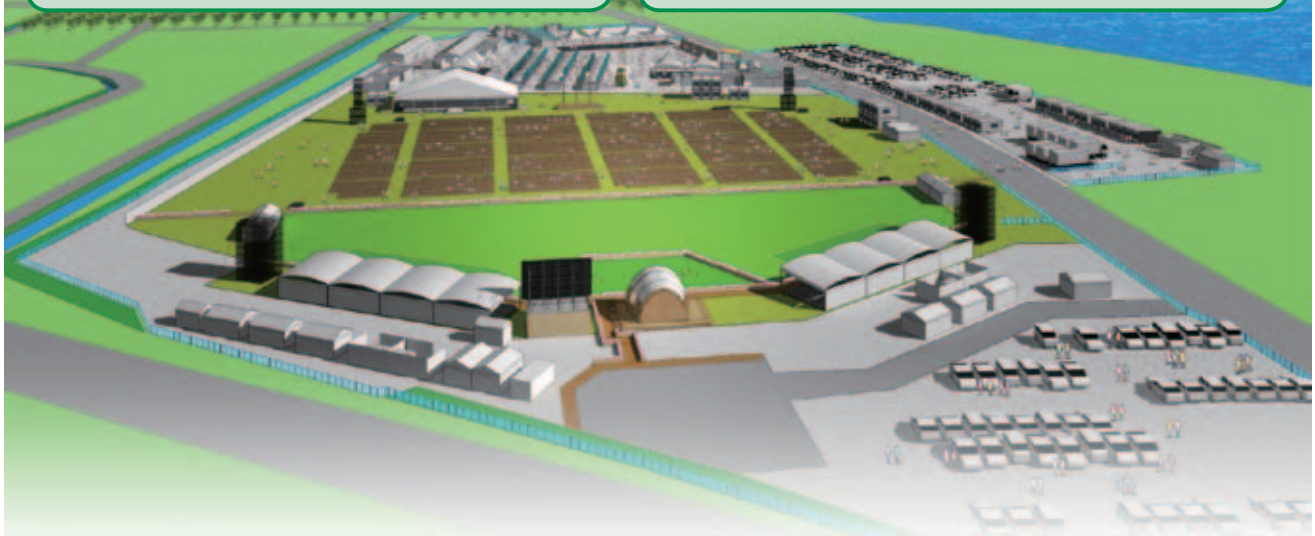
相馬流れ山民謡

相馬農業高等学校　郷土芸能部

相馬高等学校　相馬隊鼓舞

グランドフィナーレ

大会テーマソング『福ある島』（作詞・作曲：GReeeeN）の大合唱により、復興再生に向けた想いを一つにします。



植樹行事

東日本大震災の大津波による大きな被害から復旧した海岸防災林を会場に、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きや、招待者の方々による記念植樹を行います。

お手植え・お手播き

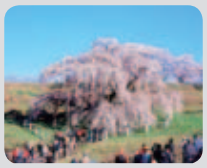
お手植え木は、大会開催の記念樹となり、豊かな森林（もり）づくりのシンボルとして、大切に育てていきます。

また、お手播きされた種子から養成した苗木は、福島県が育て、県内の公共施設等に記念樹として配布します。

■ お手植え樹種

天皇陛下	クロマツ	ケヤキ	スダジイ
皇后陛下	アカマツ	ヤマザクラ	ヤブツバキ

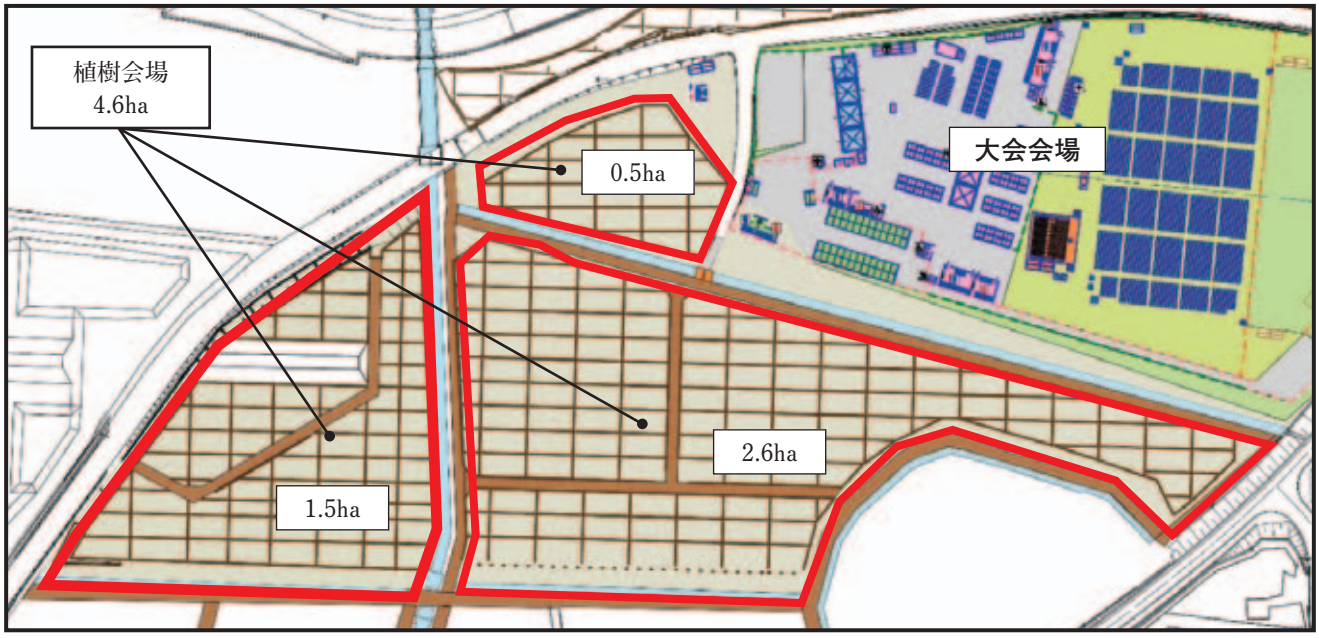
■ お手播き樹種

天皇陛下	津島マツ	飯豊スギ
皇后陛下	ベニシダレ 	マルバシャリンバイ

招待者記念植樹

招待者は、大会会場に隣接した海岸防災林4.6haで、約２万本の苗木の記念植樹を行います。苗木には、「苗木のスクールステイ」や「苗木のホームステイ」等、多くの県民によって育てられた苗木を使用します。

【招待者記念植樹会場】　N



式典スケジュール

プロローグ　13：35～14：20

福島県の紹介映像	
プロローグアトラクション	①霊山太鼓と山木屋太鼓　②会津彼岸獅子　③フラ
感謝状贈呈 ・大会テーマ　・シンボルマーク　・大会ポスター原画	贈呈：福島県知事　受贈：各受賞者
東日本大震災復興支援への感謝	贈呈：福島県知事　受贈：愛知県知事、駐日大使代表 立会：復興大臣
森林（もり）とのきずなづくり植樹リレーゴールセレモニー	贈呈：（公社）福島県森林・林業・緑化協会会長 受贈：福島県知事
記念切手の贈呈	贈呈：日本郵便㈱代表取締役　受贈：福島県知事
式典行事のご案内	

記念式典　14：20～15：10

天皇皇后両陛下　御到着	御先導：福島県知事 お出迎え：大会会長、（公社）国土緑化推進機構理事長
黙とう	
開会のことば	（公社）国土緑化推進機構副理事長
三旗掲揚・国家斉唱	緑の少年団、ボーイスカウト福島連盟、 ガールスカウト福島県連盟
表彰 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ・緑化功労者 ・全日本学校関係緑化コンクール ・福島県森林（しんりん）の功労者	表彰：大会会長、農林水産大臣、文部科学副大臣、 福島県知事 受賞：受賞者代表
苗木の贈呈	贈呈：緑の少年団 受贈：農林水産大臣、環境大臣
天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き 代表者記念植樹	御先導：（公社）国土緑化推進機構理事長、福島県知事 介添え：緑の少年団、ボーイスカウト福島連盟、 ガールスカウト福島県連盟 記念植樹：代表者
メインアトラクション	演劇・ダンスによる大会テーマ表現
大会宣言	（公社）国土緑化推進機構理事長
リレーセレモニー	福島県知事、愛知県知事 介添え：緑の少年団
閉会のことば	福島県議会議長
天皇皇后両陛下　御退席	御先導：福島県知事 お見送り：大会会長、（公社）国土緑化推進機構理事長

エピローグ　15：10～15：40

サテライト会場との二元中継	
森林（もり）づくりのメッセージ	緑の少年団
エピローグアトラクション	①相馬野馬追の騎馬武者行列 ②「相馬流山」の主題による変奏曲
グランドフィナーレ	全出演者

全国植樹祭のサテライト会場にぜひお越しください！

公益財団法人　ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

第69回全国植樹祭の開催に当たり、多くの県民が植樹活動に参加し、全国植樹祭を式典会場と一体となって共有できるよう、「ふくしま県民の森」にサテライト会場が設けられますので、ふるってご参加くださるようご案内申し上げます。

サテライト会場の概要は、次のとおりです。

1　開催日時　平成30年６月10日（日）10：00～16：00

2　開催場所　ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（大玉村）

3　実施内容

①　ステージイベント（12：00～13：35）

大玉村の小学生による「田植え踊り」や「十二神楽」などの伝統芸能の発表、お笑い芸人トークショー、口笛演奏等が行われます。

②　式典中継（13：35～15：40）

ビジョンカーによる式典中継の観覧のほか、式典会場とサテライト会場との相互中継を行います。

③　一般参加者記念植樹（10：30～13：30）

３班に分かれて、植樹会場で2,000本の少花粉スギを記念植樹します。

④　おもてなしコーナー（10：00～16：00）

○体験ブース……木工製作、丸太切り、薪割り等

○展示PRブース……福島県の森林林業PR、林業機械の展示等

○飲食・物販ブース…福島県の特産品の販売、大玉村産品の販売、ふるまい鍋等

⑤　その他

○参加者にはパンフレットと飲料を配布します。

○ヤマツツジ苗木（先着500名）と大玉村産のお米（先着1,000名）を無料で配布します。

○植樹参加者には移植ゴテを配布します。

【参加される皆様へのお願い】

フォレストパークあだたらは、駐車スペースに限りがありますので、無料シャトルバスのご利用をお願いします（乗降所　PLANT-5 大玉店駐車場）。

第47回全国林業後継者大会2018福島大会 inいわきの開催について

１　会長挨拶

第47回全国林業後継者大会　福島県実行委員会会長
豊　田　新　一

全国林業後継者大会については、昭和45年に本県猪苗代町で開催された「全国林業後継者のつどい」が先駆けとなり、ふたたび、第47回目の大会が本県で開催されることとなりました。

第47回全国林業後継者大会のテーマは、「未来へと　つなげる心　森林（もり）づくり」とし、過去から現在へとつながった林業後継者の思いが、さらに未来へつながるような大会にしたいと考えています。

木工教室で指導する豊田会長

また、大会を通じて、東日本大震災からの森林・林業の復興・創生に向けた皆様からの支援に感謝する気持ちと、力強く歩みを続ける福島県の姿を国内外に発信していきたいと考えております。

この大会では、林業の先輩方、現役世代によるトークセッションや次世代を担う学生達による活動発表、林業従事者によるアトラクションなどを予定しております。

大会を契機として、林業に関わる者が、長年にわたり先輩たちが心を込めて育ててきた大切な森林を有効に活用しながら、「森林（もり）を守る心」「森林（もり）を活かす技術」とともに後世へつないでいくことを改めて認識し、プライドを持って森林（もり）づくりに取り組めるような大会にしていきたいと考えております。

「第47回全国林業後継者大会2018福島大会inいわき」がすばらしい大会となりますよう、その成功に向け鋭意準備を進めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

２　大会の概要

⑴　開催目的

この大会は、第69回全国植樹祭関連行事として、全国の林業後継者が一堂に会し、森林（もり）づくりへの先人の考えや担い手としての日ごろの取組について意見を交わし、豊かな森林（もり）を次世代に継承する思いを全国に発信するために開催します。

また、東日本大震災からの森林・林業の復興・創生への支援に感謝する気持ちと力強く歩みを続ける福島県の姿を国内外に発信します。

⑵　基本理念

昭和45年に猪苗代町で開催された「全国林業後継者のつどい」が「全国林業後継者大会」の先駆けとなり、再び本大会が本県で開催されます。

過去から現在へとつながった林業後継者の思いが、さらに未来につながるよう基本理念は次のとおりとします。

- 豊かな森林（もり）を未来につなげる。
- 森林（もり）を守る心を後世につなげる。
- 森林（もり）を活かす技術を次世代につなげる。

(3)　テーマ

未来へと　つなげる心　森林（もり）づくり

(4)　開催時期

平成30年６月９日(土)

①全国林業後継者大会　13：30～16：30

②交歓の夕べ　17：30～19：00

大会会場(いわき芸術文化交流館アリオス)

(5)　開催会場

①全国林業後継者大会

いわき芸術文化交流館アリオス　大ホール

②交歓の夕べ

グランパルティいわき　グランオリエンタル

(6)　主　　催

福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、いわき市、福島県

(7)　後　　援

林野庁、一般社団法人全国林業改良普及協会、公益社団法人大日本山林会

(8)　大会プログラム

全国林業後継者大会　(13：30～16：30)

①オープニング（13：30～13：35）

オープニングでは「復興に向かうふくしまの森林林業」と題して、出演者の林業に従事する姿やインタビューの映像を放映します。

②開会式典（13：35～14：05）

福島県副知事による主催者あいさつ、いわき市長による歓迎の言葉及び来賓の皆様から御挨拶をいただきます。

③トークセッション等（14：05～16：15）

ア　鼎談等「先輩方からの発表」

昭和45年の全国植樹祭及び全国林業後継者のつどいの参加者を招き、現在までの林業の姿を振り返るとともに後継者への期待を発表します。

- コーディネーター

京都府立林業大学校客員教授

高知県立林業大学校特別教授

藤野　正也 氏

- 登壇者

いわき市森林組合　代表理事組合長

田子　英司 氏（指導林家）

北塩原村農家　山本壽美子 氏（昭和45年全国植樹祭において介添）

猪苗代町議　佐藤英一郎 氏（昭和45年全国林業後継者のつどいにおいて発表）

大会ポスター

イ　活動発表「現役世代からの発表」

会津、中通り、浜通りそれぞれの地域で現在林業に従事する世代の優良な活動事例や森林づくりの取組を発表します。

㈠　水野林業　　水野　廣人 氏

テーマ「次世代に繋げる林業―震災転機にＵターン　林業三代目としての覚悟」

㈡　NPO法人みなみあいづ森林（もり）ネットワーク事務局長　松澤　　瞬 氏

テーマ「人のネットワークによる地域資源の有効活用」

㈢　田人林業研究会　　緑川　平隆 氏

テーマ「これまでやってきた事。これから伝えたい事。」

ウ　パネルディスカッション「現役世代からの発表を踏まえたパネルディスカッション」

先輩方と現役世代によりこれからの福島県の林業についてパネルディスカッションを行います。

コーディネーターと前記ア、イの発表者６名

エ　休憩＆アトラクション

『にな☆コレ2018』（林業担い手コレクション2018）

防護服や作業着を着たベテランから若手までが、会場を颯爽と歩いて林業のかっこよさ、楽しさについてPRを行います。

県内の林業従事者

オ　活動発表「次世代からの発表」

大学生、高校生、中学生のそれぞれの世代から、現在の林業及びこれからの林業に対する思いや自らが行う活動について発表します。

㈠　大学生代表　福島大学とげっちょ組

テーマ

「大学生から広げる森林環境保全の「環（わ）」」

㈡　高校生代表　福島県立会津農林高等学校

テーマ「会津漆器は会津のウルシから―会津産ウルシ苗の生産に取り組んで―」

㈢　中学生代表　天栄村立天栄中学校

テーマ「森林（もり）に親しむ」

④閉会式典（16：15～16：30）

林業後継者が大会宣言を行うとともに、次期開催県の愛知県実行委員会会長より御挨拶をいただきます。

- 大会宣言　有限会社　豊田林業　豊田　和弘 氏
  有限会社　平子商店　平子　睦美 氏
- 次期開催県挨拶　愛知県実行委員会会長
- 閉会の言葉　福島県林研グループ連絡協議会副会長）

交歓の夕べ　（17：30～19：00）

（開催内容）

主催者挨拶、激励の言葉、歓迎の言葉、乾杯、アトラクション、万歳

来県への感謝の意を福島県ならではの食材とアトラクションで表現します。

提供する料理は、地元いわき市産の食材を盛り込むとともに、県新酒鑑評会知事賞受賞酒及び全国新酒鑑評会金賞受賞酒などを振る舞う予定です。

アトラクションでは、福島県いわき市に拠点を置く、リノラニあゆみ先生率いるフラダンス教室「ハーラウラウラーナニ」によるフラダンスをご覧いただきます。

挑戦！県南地方の森林再生

福島県県南農林事務所
林業普及指導員　民　安　義　仁

県南地方の森林整備面積は、震災後大きく減少しましたが、平成25年度から開始されたふくしま森林再生事業の本格的な実施に伴い回復しつつあります。

平成28年度のふくしま森林再生事業による森林整備面積は約290haで、管内の森林整備面積の５割弱を占めています。森林整備の推進には、ふくしま森林再生事業の円滑な実施が不可欠となっていることから、当事務所では、ふくしま森林再生事業の実施による森林整備の更なる回復と、間伐等の実施によって生産される素材の安定供給に向けた取組を支援しています。

○取組内容

その対策立案として平成29年度には、「関係機関との連携促進」「森林整備手法等の普及」の２点に取り組みました。

⑴　関係機関との連携促進

ふくしま森林再生事業の主体は市町村であるため、市町村を軸とした関係者との連携が重要であります。このことから、４月に市町村等担当者説明会を開催したのち、管内全ての９市町村ごとに毎月月末に定期的に市町村、年度別計画作成及び同意取得の受注者である設計コンサルタント、森林整備業務受注者である林業事業体を含めた関係者による打合せを実施しました。その打合せでは林業普及指導員がコーディネーターとなり、森林整備手法や路網配置等の検討案を引き出しながら活発な議論を展開しました(29年度定期打合せ延べ83回)。

また、森林再生を計画的に実施するためには、安定した労働力確保が不可欠であることから、県南農林事務所では、年２回、森林管理署、市町村、県、林業事業体等による意見交換会を開催し、発注スケジュール等の情報や、新規就業者の確保状況と課題等を関係者で共有しながら事業を実施しています。

⑵　森林整備手法等の普及

定期的な打合せで議論して解決できない課題については、関係者と現地に赴き、現地にて樹種・林齢・林況を確認しながら将来の目標林型をイメージして、伐採率や伐採木を決めながら施業手順を指導しています。また、作業道の線形は現地の地形、勾配等を関係者で確認しながら効率的な伐採及び材の搬出に資するよう路網配置を検討しました。更に、放射性物質対策としての丸太筋工の配置について、保全する人家、田畑、道路など考慮して適切に配置するよう指導しました。

○取組成果

こうした関係者との連携促進等は着実に成果に結びつき、平成29年度のふくしま森林再生事業の森林整備面積は前年度比133％の約387haとなり、管内の森林整備面積も前年度を上回る実績となっています。

平成30年度も挑戦の気持ちで引き続きふくしま森林再生事業を中心とした森林整備を推進し、当管内の林業・木材産業の振興につなげていきたいと考えています。

関係者との定期打合せ

西郷村での現地打合せ

森林管理署メモ

低密度植栽試験地の状況について

棚倉森林管理署

棚倉森林管理署管内には、平成九年度にスギ低密度植栽試験地が設けられ、ヘクタール当たり六〇〇本、八〇〇本、一、二〇〇本、対象区として三、〇〇〇本を植栽し、二〇年が経過した造林地があります。

関東森林管理局では、平成二八年度から、植栽密度二、〇〇〇本／ヘクタールを基本として再造林を行っていることから、今後、地位級等による植栽密度で再造林が行われる中、植栽から二〇年経過した低密度植栽試験地を検証することで、低密度植栽の効果や課題を共有し、今後の事業を円滑に実行するため、昨年度、関東森林管理局管内各署から当署に集まり、現地検討会が開催されました。

また、国有林野事業業務研究発表会において「二〇年経過した低密度植栽試験地から考察する」を発表し、一定の評価がされたところです。

今回、業務研究発表会に先立ち行った調査結果について紹介させていただきます。

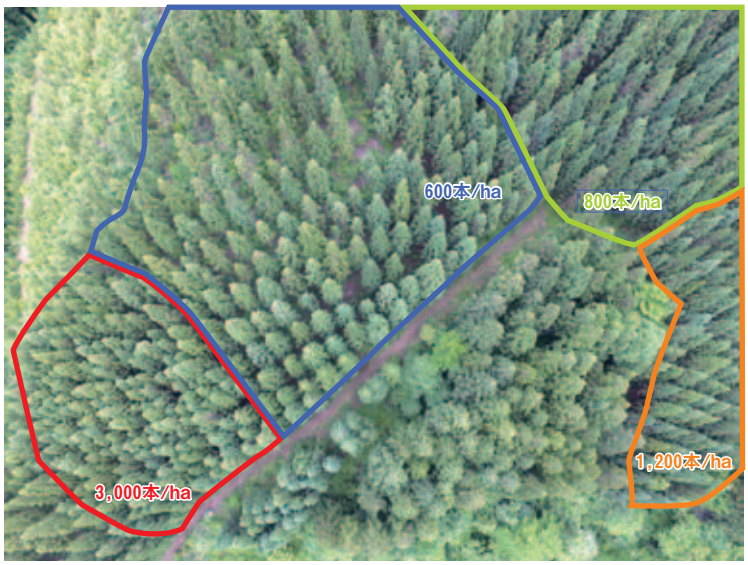
低密度植栽が造林木に与える影響として、植栽密度の低下により、①肥大成長が促進され単木材積は増加する。②着葉量が増え枝下高が低くなる。③伸長成長が促進される。④林分材積（収穫量）が減少する。⑤年輪幅が太くなる。⑥梢殺（うらごけ）になる。さらに、植栽密度が低くなると、①樹冠長率が高くなる。②収量比数が低くなる。ことが分かりました。植栽本数を減らすことで、植栽にかかるコスト削減や間伐回数を減らすことも期待できます。

いずれについても、まだ二〇年生の若い林分のため、継続調査が必要となります。

近年の木造建築工法の変化や木材加工技術の向上により木材利用の形が変わってきており、また、木材価格の大幅な上昇は期待できない状況にあります。さらに、今回調査した試験地は、地位が高く、保育が十分に行われていましたが、異なる条件下で低密度植栽を検証する必要があると考えます。

木材利用の方向性や山づくりの考え方とともに低密度植栽について、継続して議論を深めていかなければなりません。

低コスト造林が求められる背景として、昭和四〇年代に造成された人工林が収穫期を迎える中、主伐再造林を確実に進め、木材資源を循環的に利用することが重要な課題とされています。しかし、主伐収入が再造林・保育経費を下回る状況となっているなかで、再造林・保育経費を削減する取組は民有林・国有林ともに共通の課題であり、国有林が低コスト造林を率先して取り組むことが求められているところです。



毎木調査結果の概要

区分	植栽本数（本／ha）	平均胸高直径（cm）	胸高断面積合計（㎡／ha）	平均樹高（m）	平均幹材積（㎥）	材積（㎥／ha）	平均枝下高（m）	平均形状比	平均樹冠長率	収量比数
試験区1	600本	23.5 ±3.4	26.5	16.8 ±1.7	0.37	221.4	2.7 ±1.3	72.4%	84.4%	0.54
試験区2	800本	22.6 ±3.2	32.8	16.9 ±1.4	0.34	274.8	4.3 ±1.5	75.5%	74.5%	0.65
試験区3	1,200本	21.8 ±2.5	45.5	15.3 ±1.3	0.29	347.4	6.0 ±1.0	70.4%	60.4%	0.74
対照区1～3平均	3,000本	17.9 ±3.2	72.8	13.2 ±1.8	0.18	503.0	7.5 ±1.1	75.8%	43.1%	0.98

±標準偏差
形 状 比：80以上になると気象害に弱い。
樹冠長率：40%以下になると枝下高が低く、混み過ぎ。
収量比数：0.8以上になると混み過ぎ。

木に触れて豊かな心を育む「木育」③

ウッドスタート宣言（飯舘村）

林業福島事務局

○はじめに

飯舘村は、平成二五年五月「ウッドスタート宣言」に調印し、誕生祝い品として木のおもちゃをプレゼントする事業が始まりました。かつて飯舘村では、「東京おもちゃ美術館」の監修のもと、「おもちゃのもり」の分校として木をふんだんに使った子育て支援センターの建設が進められていましたが、オープン直前に原子力事故の影響で全村が計画的避難区域に設定されたことで中止を余儀なくされました。今回、木のもつ力を子育ての環境に生かしていこうとする「飯舘村」の思いと、赤ちゃんからはじめる生涯木育を提唱する「東京おもちゃ美術館」の支援の約束が実現しスタートしたものです。

「ウッドスタート宣言」の調印式

○木のおもちゃプレゼント

誕生祝い品としてプレゼントする木のおもちゃは、「東京おもちゃ美術館」の監修を受け、会津地方の職人が県産木材を使用し安全性と機能性に配慮して写真の三種類を制作し、うち希望する一つを選んでいただいています。

木のおもちゃプレゼントは、子育て支援の一つとして健康福祉課が担当し、飯舘村に住民票がある世帯を対象に、県内の世帯には保健師が直接届け、県外の世帯には郵送しています。木のおもちゃをプレゼントされた家庭では、高価でなかなか手が出ないことに加え、木目の美しさ、安らぎのある匂いや温かみのある手触りなど素材が良いことや、飽きがこないで何時までも遊べることなどで、大変喜ばれています。また、訪問する保健師にとっても、親しく新生児を指導するきっかけや、子育てに関して楽しく会話する話題となると好評です。

村の担当者は、飯舘村を離れていても、飯舘村に思いを寄せるコネクションとなるよう、長く継続したい意向でした。

プレゼントする木のおもちゃ①

プレゼントする木のおもちゃ②

プレゼントする木のおもちゃ③

○木育キャラバン

平成二五年七月十三日（土）、「東京おもちゃ美術館」が主催する木育キャラバンが、役場機能を移転していた福島市にある飯野学習センターで開催されました。「東京おもちゃ美術館」から贈呈を受けた木のおもちゃに、会場いっぱいに集まった子どもたちは、木のぬくもりと楽しさに心ゆくまで遊んでいました。なお、贈呈を受けた木のおもちゃは、現在も各種イベントで活用しています。

○おわりに

飯舘村は、平成二九年三月三一日に避難指示区域の大部分が解除されましたが、未だ五、八〇〇人を超える方（平成三〇年五月一日現在）が県内外に避難をされています。木のおもちゃプレゼントが、「〝まてい〟がうれしいね！飯舘村」に思いを寄せ、強い絆となることを願っております。

木育キャラバン

木材市況

二月の原木市場への入荷状況は、前月比一四パーセント増（前年比三パーセント増）の三二、五四六立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一一パーセント増（前年比二パーセント増）の三二、四四七立方メートルとなっている。

三月の価格は弱含みとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（３月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	9（8～10）	0	（0～0）		9（9～9）	0	9（8～10）	0
		10～14		並		12（12～13）	0	（0～0）		11（11～12）	△1	12（11～13）	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	12（11～13）	△1	11（11～11）	0	12（11～12）	0	12（11～13）	0
				並	ヒノキ	20（16～24）	0	（0～0）		16（16～16）	1	18（16～24）	1
			6.00	並	スギ	16（15～17）	0	11（10～12）	0	16（16～16）	0	15（10～17）	0
				並	ヒノキ	30（25～35）	0	（0～0）		21（19～24）	0	25（19～35）	0
		20～28	3.65	並	スギ	12（12～12）	0	10（10～11）	△1	12（12～13）	0	12（10～13）	0
			4.00	並		12（12～13）	0	12（12～12）	0	15（11～18）	2	13（11～18）	1
			4.00	並	アカマツ	9（7～11）	0	（0～0）		9（9～10）	△1	9（7～11）	0
			1.80	並		8（5～10）	0	12（12～12）	0	7（6～7）	0	8（5～12）	0
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		28（28～28）	0	28（28～28）	0
				並	米マツ	（0～0）		32（32～32）	0	30（29～30）	0	30（29～32）	0
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		28（27～28）	0	28（27～28）	0
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		26（25～27）	0	26（25～27）	3
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）	0	（0～0）		5（5～5）	0	6（5～7）	0
				並	広葉樹	9（9～9）	0	（0～0）		6（6～6）	0	8（6～9）	0

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材		12以下	4.00	並	カラマツ	（0～0）		7（6～9）	0
		13～14		並	カラマツ	（0～0）		8（7～8）	0
		16以上		並	カラマツ	（0～0）		10（9～11）	0

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

半田山自然公園

県北農林事務所　桑川隼人

県北農林事務所に配属され、様々な現場を見た中で、私の一番好きな場所であり福島県の治山事業と深い関わりのある伊達郡桑折町の半田山自然公園について紹介します。

半田山（標高八六三・一メートル）の歴史は古く、徳川幕府時代に通貨鋳造銀山として有名になり、日本三大鉱山の一つと称され賑わっていました。半田山では地すべりが繰り返し起きており、明治三四年頃に大規模な陥没地すべりが発生、山の中腹にあった旧半田沼が消滅し、現在の半田沼が誕生しました。また、明治四三年には異常な降雨により半田沼が決壊し、土石流が発生しました。この土石流は家屋一一二戸、田九〇ヘクタール、畑三〇ヘクタールに被害を与えた大規模なものでした。

翌年から被災地の復旧事業が始まり、この事業が福島県が取り組んだ治山事業の始まりと言われています。県の補助事業として、旧半田村直営で半田山の復旧工事を開始し、地盤保護や苗木の植栽、ヘリコプターによる種まきなどをおこない六七年という長い年月をかけて、昭和五二年に完了しました。

その後、桑折町でも半田山の保全管理に注力し、生活環境保全林整備事業などによって花木の植栽や施設の整備がなされ、昭和六〇年に半田山自然公園が誕生しました。

遊歩道や登山道、キャンプ場などが整備されており青く澄んだ半田沼を中心に春は桜、夏はキャンプ、秋は紅葉狩りと四季を通じて自然を楽しむことができます。また、サイクリングロードや多目的運動広場もあり、自然の中でスポーツを楽しむこともできます。

今年は五月十三日に山開きが行われました。登山や様々な行楽を楽しむことができるので、家族や友人と是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

半田沼

昭和35年頃　治山事業の様子

はなしのひろば

全国植樹祭

いよいよ全国植樹祭である。この大会の前身は、昭和九年より「愛林日植樹行事」として全国一斉に実施された。第一回全国植樹祭は、山梨県で「植樹行事並びに国土緑化大会」として開催されたが、第二五回目の福島県より現在の大会名となった。

この全国植樹祭が始まってから六九年の間に私たちの生活様式は変わり、身近にあった森林や里山はいつからか遠くなってしまった。時代の流れといってしまえばそれまでだが、かつて木地師は、美濃を中心に全国各地で良質な木材を求め、二〇年位の単位で山中を移住していたらしい。森林は、人の手が入ってこそいつまでも若くいられるし、森林の植生は地球の皮膚の働きをしていると聞いたことがある。また、戦後、森林資源確保、環境教育向上のため、学校林があった。林業が地場産業である地域では、生徒自ら植栽、下刈り、間伐をし、収益を校舎の増改築等に充てていたといわれる。更にその当時、学校林コンクールが行われ、第一回目の小学校の部では平田村第二小学校（現存せず）が受賞している。こうして植樹祭の歴史をひも解くと、その節目には福島県が登場してくる。これは、とりもなおさず、古より福島県の風土は森林の恵みに支えられてきているからだ。私たちは、森林の恵みにもっと気づき、感謝をしなければと思う。

そして、平成時代の最後となる「第六九回全国植樹祭」。この植樹祭を誘致された方々の思い、民間レベルでのたくさんの植樹活動、企業協賛、そのひとつひとつの点が、平成三〇年六月十日いよいよ一本の線となる。

また新たな福島県の森林文化の始まりである。

（都）

表紙の写真

「森と清流」

第32回ふくしま緑の写真コンクール金賞
受賞者　片桐勝美さん（喜多方市）
撮影場所：猪苗代町

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸　典明
陽光社印刷株式会社
（定価　一〇八円）

お知らせコーナー

2018一語一絵 第13回みどりの文 作品募集

～庭にはひとつの物語といちまいの絵があります～

「美しい緑と安らぎの空間づくり」を目指している（一社）福島県造園建設業協会では、庭に込められたあなただけの物語を手紙や絵手紙、写真で伝える作品を募集しています。

１　部門

（1）　手紙・エッセー部門
600字以内（句読点を含む）
様式は自由（原稿用紙、便箋等）

（2）　フォト部門
六ツ切りサイズにプリント

（3）　絵手紙部門
官製はがき、私製はがき（107㎜×154㎜以内）

２　応募締切
平成30年８月28日（火）（当日消印有効）

３　お問い合わせ先
一般社団法人福島県造園建設業協会
（TEL 024－593－0039）

ペレット・薪ストーブ購入設置に5万円を助成します！

福島県木材協同組合連合会では、ペレットストーブ、薪ストーブの購入費用の助成希望者を募集しています。

１　補助額・台数
ペレット・薪ストーブ１台に５万円、補助台数100台
※薪ストーブは、二次燃焼構造を有するものに限ります。
※申請が補助台数を上回った場合は、抽選により決定する場合があります。

２　募集期間
平成30年６月１日から平成31年２月28日まで
※期間内でも補助台数に達した日で募集を締め切ります。

３　申請資格
住所・居住地や主な活動地、使用場所等の要件があります。
詳しくは、HPをご覧ください。
HP　http://www.fmokuren.jp

４　問い合わせ先
福島県木材協同組合連合会（TEL 024－523－3307）

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》
◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ **GP-35B グラップルプロセッサ**

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新のGP-8コントローラを搭載
・5.7インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
・A,B,C,Dの4コード毎に4種類、合計16種類の測長設定値
・樹種を4種類登録でき、個別に材長調整値の設定が可能

新開発のスタッドローラ(オプション)
・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(鋲)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンス

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
www.iwafuji.co.jp

（北関東支店） 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 六月号 通巻第六四六号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成三十年六月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®

人と共に　緑と共に

For Professional

BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional

GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR

刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100

破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字薪蟻塚 108-1